

教育委員会会議録要旨 (令和2年第19回)

定例会	日 時	令和2年10月21日(水) 午後2時00分
	場 所	明石市役所分庁舎4階教育委員会室
出席者	委 員	清 重 隆 信 教 育 長 川 本 まり子 委 員 伊 賀 文 計 委 員 柏 木 輝 恵 委 員 栗 岡 誠 司 委 員
	事 務 局	北條局長 村田次長(管理担当) 福本次長(指導担当) 市川次長(給食担当)兼学校給食課長 廣岡所長兼次長(情報担当)兼情報化担当課長 寺田総務課長 金井学校教育課長 森本児童生徒支援課長 三ノ浦総務課企画総務係長

○次 第

○報告事項

1. 高丘小中一貫教育校にかかる明石市教育委員会と兵庫県立明石北高等学校の連携・協力に関する協定について
2. 2020年（令和2年）「いじめ防止月間」について

開催

（清重教育長）

それでは、ただいまから、令和2年第19回定例会を開会します。

本日の署名委員は、川本委員をお願いします。

それでは、本日の審議を始めます。

本日は報告事項のみです。

報告事項1「高丘小中一貫教育校にかかる明石市教育委員会と兵庫県立明石北高等学校の連携・協力に関する協定について」、説明をお願いします。

（金井課長）

報告事項1「高丘小中一貫教育校にかかる明石市教育委員会と兵庫県立明石北高等学校の連携・協力に関する協定について」、報告させていただきます。

令和3年4月より高丘小中一貫教育校が開設されます。特色ある取組の一つとして、スーパーサイエンスハイスクールである兵庫県立明石北高等学校との理数教育やプログラミング教育に係る連携です。

この度、明石市教育委員会と兵庫県立明石北高等学校とで協定を締結しました。

目的については、明石市教育委員会と兵庫県立明石北高等学校が連携及び協力のもと、相互の人的及び資源の交流又は活動を図り、高丘地区をはじめとする明石市立諸学校に在籍する児童・生徒及び兵庫県立明石北高等学校に在籍する生徒に対する教育の質の向上と教育研究の推進を図るとともに、活力ある地域社会の形成と発展に寄与する

ことを目的とします。

高丘小中一貫教育校である高丘東小学校、高丘西小学校、高丘中学校だけではなく、明石市立諸学校に対して明石北高等学校は連携及び協力をしていくこととなります。

連携事項としては、教育課題の解決に向けた調査研究に関する事項、児童生徒の心身の健全な成長と発達に対する支援方策の研究に関する事項、地域の発展に関する事項、その他協議し、必要と認める事項となっています。

協定の有効期間は、協定締結の日から1年間とします。ただし、有効期限満了日の1か月前までに、両者からの申し入れがないときは、さらに1年間継続されていきます。

最後に今後の動きや活動についてですが、高丘小中一貫教育に係る会議等について、明石北高校の方から是非参加したいとの申し入れもあり、今後、会議内容等で必要に応じて参加することになります。

また、11月にはプレ実践といたしまして、まちづくりをテーマに神戸芸術工科大学より講師を招聘し、住宅や公共施設、公園等の空間デザインといった環境デザインを小学校、中学校、高等学校の児童生徒で行う予定です。

そのほかに、明石北高校の教員が講師となり、小学生にプログラミング教育を行う予定をしております。

今後、交流時期や時間などの調整が課題となってきますが、高丘小中一貫教育校とどのような交流が可能であるか教育課程の編制を検討していくこととなります。

以上で報告を終わります。

(清重教育長)

何かご意見やご質問などはありますでしょうか。

(川本委員) 明石北高校の動きを見て、他の高校の反応や、コミュニティ・スクールを行っているなかで、他にも高校の近くに小学校があるところがあると思いますので、そのあたりの反応はありますでしょうか。

(金井課長) 他の高校と直接的に話はしておりません。こういった形で行っていくうえで、例えば、沢池小学校、野々池中学校と明石南高校や、大蔵中学校と明石高校も近くにありますので、今後また検証しながら、そういったことも考えていければと思っております。

(川本委員) 先駆けという感じで、小中学校の子どもたちの知識の向上や興味・関心を起こすような形でご協力いただければよいと思います。

(栗岡委員) 明石市内に県立の高校が6校あり、それぞれが特色を持っております。そういった強みをうまく、明石市内の小、中、高と連携できればよいなと感じております。

(清重教育長) 中教審が、高校の在り方を示されております。それを踏まえて、明石商業高校も含めた市内の高校が、今後、どういう在り方で、どんな方向性で特色を出していくのかということは再構成していくと思います。

場合によっては、それぞれの校長先生に今後、どんな感じの方向性で教育活動の特色化を図るかということ聞いてみる必要があるのかなと思います。

小中学校と高校がどのような形で連携できるかということのアレンジしていく必要があると感じます。

(栗岡委員) 今回、連携協定ということですが、協定書を交わすといったことは非常に重く感じます。これにあまり縛られると、高校によっては重過ぎて結びにくいといったところもあると思いますし、協定書を交わさなくてもいろいろな連携の仕方があると思います。

あと、明石商業高校は市立の商業高校ですので、長いスパンで考えていながら、魚住小学校や魚住東中学校も近くにありますので、そういったところとどうしていくのか、非常に広い意味での連携の在り方を考えていかないといけないと思います。

(伊賀委員) 初めての試みですので、連携や協力をどのように行っていくかということは、動きだしながらも考えていかれたらと思います。

(栗岡委員) いろいろなメニューやプログラムがあると思いますので、全体は無理でも一部はできるというような形を開発していただければ、他でも使っていけるとと思います。いろいろな試みをしていただければと思っています。

(柏木委員) この連携・協力の協定について、高校側から期待されているところをもし聞いていらっしゃったら教えてください。

あと、今後、どういった交流を検討していくのか、今挙がっているものやアイデアがあれば教えてください。

(福本次長) 明石北高校がスーパーサイエンスハイスクールに認定されておりまして、この地域には他に、小野高校と加古川東高校が認定されています。

特に明石北高校は、明石市内の企業や学校と連携・協力しながら、地域全体の科学的な底上げや、地域に貢献する形でのスーパーサイエンスを謳っております。そこにちょうど、私どもの進めております小中一貫教育校と合致しているということもありますし、ここの協定にもありますように、高丘小中だけではなく広く明石市と協力関係を結んでいきたいといったお考えがあり、この協定を結んだということでございます。

あと、今後の動きについてですが、明石北高校がスーパーサイエン

スハイスクールに認定されております関係で、数学と理科の先生が他校より多くいらっしゃいます。その先生方の時間の都合をつけていただき、小中学校の授業に入っていただくといったことや、英語も一緒に行っていこうといった動きもございます。

また、具体例はまだですが、中学校の部活動が、現在、運動部と吹奏楽部しかございませんので、科学部といった部活を作ったり、場合によっては小学生も早いうちに体験参加をしながら、地域全体が明石北高校でいう理数教育と、私どもでいう連携教育と一致させながら進めていきたいと思いますという話はしております。

課題につきましては、高校生は単位を取得しないといけませんので、何度も小学校に来ていただくわけにはいきません。その時間をうまく合わせていき、お互いの教育課程に支障がないようにすることが課題になっており、そこを詰めていかなければいけないといった話はしております。

(川本委員)

今、高丘小中一貫教育校について、どういった問い合わせがあるのか教えてください。

(金井課長)

Q&Aに記載している内容がほとんどで、例えば、兄弟姉妹での優先的なもの、抽選はどのような形かといったものになります。

説明会の申し込みにつきましては、10月20日の時点で、24日ゆほびかホール開催分は66組のご家庭、25日高丘中学校開催分は111組の申し込みがありました。

また、当日参加も受け付けておりますので、申し込み者で欠席される方もいらっしゃると思いますが、予想以上の反響ではないかと感じております。

(清重教育長)

次に、報告事項2「2020年（令和2年）「いじめ防止月間」につい

て」、説明をお願いします。

(森本課長)

報告事項2「2020年(令和2年)「いじめ防止月間」について」、ご報告いたします。

明石市教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となっていじめ問題を解消するために、11月を「いじめ防止月間」と位置づけ、この期間に重点的に啓発を行い、「いじめは絶対に許されない」という市民意識の高揚を図ります。

期間中の主な取組として、まず、いじめ防止啓発作品の展示については、11月2日から9日は市役所2階ロビーで、11月11日から20日はイオン明石2番街「シーパーク」2階で、11月23日から27日はあかし市民広場にて、いじめ防止啓発ポスターと標語の入賞作を展示しています。

今年は夏休みが短かったため、標語、ポスターとも前年の応募数を下回りましたが、どの作品も「いじめは許されない」という思いのこもったものでした。

この展示については、入賞者が親子で見に来たり、買い物途中の方が立ち寄りたりと、例年たくさんの市民にご覧いただいております。昨年より、市民広場での展示を加え、より多くの市民にご覧いただけるようになったのではないかと考えています。

これら展示作品の表彰式は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、該当の児童、生徒の通学する学校にて行う予定にしております。最優秀賞、優秀賞については、こちらから学校に伺い、入賞者に直接手渡そうと考えております。従いまして、例年、市役所2階ロビーにて啓発作品の展示の最初の日に行っておりました表彰式は、今年行わないことといたします。

次に、「いじめ防止月間」啓発ポスターを市内の全小、中、養護学校及びコミセンに配布いたします。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

(清重教育長)

何かご意見やご質問はありますか。

(川本委員)

今年は、毎年行われる「“いじめストップあかし” こども会議」が開催されませんでした。各生徒会や児童会では、どういった取組を続けているのか教えてください。

(森本課長)

特に今年というわけではございませんが、例えば、いじめをしないと約束した子どもには、いじめ撲滅隊の隊員になったということで、バッジを渡したり、今年は特に全体でこども会議を持てなかった分、ステッカーをお渡ししまして、各学校で啓発してもらうようなこともお願いしております。

(川本委員)

先ほどの高丘の話に戻るのですが、現籍校でいじめがあり、そういったことから転校したいというような相談や問い合わせはありますか。

(寺田課長)

指定外就学の関係は総務課の所管になるのですが、特にそういった具体的なご相談は現在のところございません。

(柏木委員)

防止ということですので啓発が中心だと思いますが、いじめ防止月間というところで、児童、生徒の皆さんにアンケートを取ったりしているのでしょうか。

(森本課長)

毎年、年に3回、学校にはアンケートをお願いしております。

例年でしたら、6月、11月、2月と、毎学期ごとに取り組んでいるのですが、今年はコロナの関係で休校があり、6月は学校が始まってすぐということもありましたので、1回目は7月に変更いたしました。

(栗岡委員)

コロナ禍で、大人の世界では感染者や濃厚接触者が加害者扱いをさ

れるようなことがあります。小学校でいじめに絡んで、そのあたりについて教えてください。

(森本課長)

休校になったときに、当該校には、そういったこともあるので十分子どもたちに目を配ってほしいといった依頼をしております。9月までの報告になりますが、今のところそういった報告は受けておりません。

(清重教育長)

以上で本日の議事は全て終了いたしました。

以上をもちまして、第19回定例会を終了いたします。

(14:30 閉会)